

## 第7回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和6年10月31日（木）

午後2時40分～午後4時5分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。定刻となりましたので、ただ今から令和6年度第7回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに本日の会議資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に配布した資料としまして、資料1-1から1-5、各部会の会議概要。資料3-1、令和7年度特色ある区づくり事業（区役所企画事業）（案）について。資料3-2、令和7年度特色ある区づくり事業（区自治協議会提案事業）（案）について。資料3-3、令和7年度特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧。資料4、大雪に関する市民広報の取組み（新潟市）。資料4の別紙、にいがた雪の日辞典。参考資料、にしかん応援隊募集シート（岩室：明るいまちづくりイルミネーション事業）。</p> <p>続いて、本日机前にお配りした資料としまして、本日の次第。資料1-1-1から1-3-1、臨時部会の会議概要。資料2-1、西蒲区自治協議会第10期委員改選スケジュール（案）。資料2-2、第10期西蒲区自治協議会委員構成（案）。資料2-3、附属機関等の委員の公募について（案）。資料2-4、西蒲区自治協議会の委員の公募に関する要領。参考資料、かもん！カモねぎまつりのチラシ。西蒲区自治協議会通信「じちきょう」第21号の案。</p> <p>資料は以上となります。不足等ありますでしょうか。</p> <p>それではこれ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。先ほどの委員研修は、大変ありがとうございました。いろいろな地域があるなど感じたと思います。良いところは、先ほど区長もお話しされたように、取り入れていければと思います。来期に向けても、皆さまからご意見いただければと思います。</p> <p>また、10月19日に開催された、にしかんライフフェス田ですが、この自治協議会で初めての3部会合同の事業を無事に終えることができました。当日は生憎の悪天候でしたが、皆さまから急遽対応をしていただくとともに、屋外の催し物も、ちょうど終わった頃から雨が本降りになり、なんとか無事に終了することができました。屋内の催しについても、私が屋外を担当していたこともあり、全て体験はできませんでしたが、非常に賑わっておいしかったです。来場者数も、目標を1,000人としていましたが、後ほど説明があると思いますが、大体600人から700人ぐらいの方が来場されていたのではないかと実感しています。また、お弁当販売も、皆さまからご協力をいただき、完売となりました。大変ありがとうございました。今日の各部会で、良かった点、反省点や改善点等を出していただき、来年も同じことをするとは限りませんが、様々な提案をしていただけると良いと思います。</p>

	<p>今日の部会ではその他にも、今年度実施予定の各部会の事業の検討もあると思います。また、本会議では、ご案内のとおり議題がありますので、ご協議をよろしくお願いします。</p> <p>それでは初めに、本日の委員の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員 29 名のうち、本日の出席者は 25 名であり、過半数の出席を確認しております。</p> <p>従いまして、新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴はございませんが、報道は新潟日报社が来場しております。</p> <p>事務局および報道機関では、写真撮影ならびに録音をしますのでご了承ください。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは議事に入ります。議事 (1)「各部会の状況について」です。各部部长は前回の部会と、にしかんライフフェス田の際に開催した臨時部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会、広報部会の順に、説明者席で報告をお願いします。</p> <p>それでは、総務部会古島部部长、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>総務部会の古島です。総務部会から報告します。</p> <p>先月行いました第 6 回総務部会では、2 月に実施予定の減災に関する事業について内容を協議するほか、学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田について確認を行いました。</p> <p>減災に関する事業の内容としては、協議の結果、令和 7 年 2 月 16 日の日曜日、午前 10 時から西川多目的ホールで開催をすることとしました。避難所の運営に関する講演会のほか、避難所での受付の一連の流れを体験できる、模擬避難訓練を実施することとしました。</p> <p>学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田については、サバイバルイベント参加者の年齢・学年・居住地などといった内訳の共有と、ブースで使用する物品の準備状況、フェス田全体での役割分担の再確認を行いました。以上で第 6 回の報告を終わります。</p> <p>続きまして、資料 1-1-1 を基に説明します。10 月 19 日の土曜日に開催された、にしかんライフフェス田の終了後に行われました、第 7 回総務部会について報告します。</p> <p>同日に実施したイベントの事業評価について、部会で設定したテーマの達成具合や、課題解決にどうつながったかについて、意見交換を行いました。挙げた意見としては、資料 1-1-1 に記載のとおりです。いろいろ課題もありましたが、募集において狙った層、特にファミリー層へ体験を通して、防災について伝えられたことが一番大きい成果だったと感じております。総務部会からは以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問等はありませんでしょうか。</p>

	<p>今ほども説明がありましたが、2月16日の日曜日、午前10時から西川多目的ホールで、総務部会の減災に関する事業を行うことに決まりましたので、よろしくをお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。大変ありがとうございました。</p> <p>続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>保健福祉部会岩崎です。</p> <p>それではまず、資料1-2をご覧ください。先月開催しました、第6回保健福祉部会では、令和6年度区自治協議会提案事業の支え合いの大切さを広める標語の募集事業、オレンジ・ランプ上映会と丹野さんの講演会、学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田の3点について、協議を行いました。</p> <p>標語の募集事業は、表彰式を2月8日に巻文化会館で開催のまちづくり・産業部会の催しに併せて実施する方向で進めることとなりました。そのほか、応募のあった標語の選考方法について、詳細を協議しました。</p> <p>オレンジ・ランプ上映会と丹野さんの講演会、学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田については、資料のとおりです。</p> <p>続きまして、資料1-2-1をご覧ください。10月19日に開催しました、臨時部会についてです。同日に実施のにしかんライフフェス田の事業評価について、意見交換を行いました。この事業において、保健福祉部会では「支え合い・助け合いの意識などを育て、人と人とのつながりを大切にしよう！」を事業テーマとして掲げて取り組みました。</p> <p>設定したテーマの達成や課題解決にどのようにつながったかについて、成果としてはマスコット作りやウオーキングサッカーといった、保健福祉部会の各ブースを通じて、様々な人と交流する機会を提供することができたことや、健康づくりや支え合いと助け合いについて考えるきっかけを提供できたことが挙げられました。</p> <p>課題としては、エコ・ドライブの趣旨の周知、eスポーツで目的としていた多世代交流について、十分にできなかったことや、ボランティア団体の活動紹介ブースにおいて、掲示している情報をよく見てもらうための工夫が不足していたことが、主な意見として出されました。以上、保健福祉部会からの報告を終わります。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの報告・説明について、なにかご質問・ご意見はありますでしょうか。</p> <p>支え合いの標語の締め切りは、まもなくでしたでしょうか。</p>
(岩崎委員)	本日までです。
議長 (吉田会長)	応募数状況はいかがでしょう。
(岩崎委員)	100件を目標にしていますが、現在60件ぐらいです。
議長	募集期限を1週間延長するということはないのでしょうか。

(吉田会長)	
(岩崎委員)	委員の皆さまなど出す予定がある方がいるということであれば、1日、2日は待つようにしたいと思います。
議長 (吉田会長)	ぜひ皆さま、家族の方などにもお声がけいただくなど、改めて周知をお願いできればと思います。よろしくをお願いします。 その他よろしいでしょうか。大変ありがとうございました。 続きまして、まちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。
(大橋委員)	<p>ご苦労さまです。</p> <p>先月の26日に、まちづくり・産業部会は会議を行いました。検討したことは、にしかん応援隊についてで、継続して取り組んでいるのですが、なかなか募集人数に対して100%の状況にはなっていないということが現実です。</p> <p>今年度実施する、にしかん応援隊のPRイベントについては、応援隊のPRをもっとやろうということで、各地域のイベントをPRする内容とすることにしました。各コミ協から1~2名がステージに登壇いただき、各地域のイベントや祭りを中心にPRいただくとともに、各コミ協が抱える悩み、例えば、担い手不足のような、そういうものについても発表していただき、解決策を考えていくというものです。コミ協の実情を知ってもらうことで、コミ協と一緒に活動してくれる市民が増えるということを期待したいと思っています。イベントのチラシには、各コミ協のいち押しの写真を載せるということで、コミ協へ写真提供をお願いしているところです。</p> <p>このイベントは、2月8日の土曜日、午後1時から4時ぐらいの時間帯で、巻文化会館で300人程度の募集を募って行うことで、現在検討しているところです。総合司会は、ナマラエンターテイメントの代表 江口歩様をお呼びして、少し話をしてもらったり、進行等をしていただいたりをお願いしたいと考えています。参加者としては、市民のほか、コミ協のメンバーや、各種イベントの実行委員会、商工会、観光協会等を考えているところです。</p> <p>次に、学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田については、テーマを再確認しながら、ブースの内容を共有しました。</p> <p>続きまして、10月19日のまちづくり・産業部会についての報告です。</p> <p>にしかんライフフェス田における、まちづくり・産業部会の事業テーマは「地域を知ろう!」ということで、地域のものづくりや自然、郷土芸能などです。</p> <p>成果については、部会を越えて委員同士やボランティアの方とも交流ができたということ、ブースで上手く特産品をPRできたということがあります。また、当初は、天候が良ければもっと広いスペースで実施する予定でしたが、当日は雨天だったため、ブースがコンパクトに屋内コートにまとまっており、様々なジャンルのブースを回りやすかったという意見もありました。</p>

	<p>課題としては、ステージイベントや各ブースの内容が、イベントの大テーマである「学びと体験でつながろう」や、部会のテーマである「地域を知ろう」にあまり合致していなかったのではないかという意見がありました。来場者に、想定していた学びと体験を提供できたのか、という点です。そのほか、既存のイベント等との差があまり感じられなかったのではないか、イベントの目玉となるものが少なかったのではないか、という意見もありました。また、当日、私は竹のブースにいたのですが、非常にたくさんのお子どもたちが参加してくれたのですが、使用している竹についてもっと PR しても良かったのではないかなと思います。稲島や伏部の竹などがありますが、もっと細かい PR があっても良かったのではないかということです。さらに、イベントの PR 不足や、会場のレイアウトが分かりにくいといったものもありました。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどのご説明について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。</p> <p>いろいろなご意見ありがとうございます。屋外のステージイベントは、雨のため 4 団体が欠席になり、神楽保存会が 2 つ出演できなかったということが非常に残念で、仕方ないと思うのですが。それでも、雨の中で 8 団体に出演いただきました。今回、雨の日の会場レイアウトの想定も大変重要だということを感じましたので、今後またこのようなことを実施する際は、反省を生かしていければと思います。ご意見ありがとうございました。</p> <p>他になれば、以上でこの件については終わりたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、調整部会についてです。私から説明します。</p> <p>資料 1-4 をご覧ください。10 月 16 日に、会長・副会長および各常任部会の正副部会長で構成される、調整部会を開催しました。令和 7 年度区自治協議会提案事業については、8 月に各部会で検討いただいた内容で、本日の会議に諮ることとしました。西蒲区選出議員と自治協議会の懇談会については、11 月の本会議前に開催することとしました。意見交換のテーマについては現在調整中のため、決まり次第ご連絡します。以上です。</p> <p>なにかご意見やご質問等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。最後に、広報部会田中部会長、お願いします。</p>
<p>(田中 (久) 委員)</p>	<p>広報部会田中です。広報部会から報告します。</p> <p>10 月 11 日に開催された、第 2 回の部会では、自治協議会通信 21 号の紙面レイアウトについて協議を行いました。印刷業者から提出があった案をベースに、若干の修正を行うこととしました。本日机上に、第 2 校の紙面を配布しておりますので、参考にご覧ください。</p> <p>現在、紙面の表面に全体図を載せておりますが、当日雨天だったため、全体的に屋内コートにブースが移動したことから、会場図は削除して、その分写真を大きく載せるなど、工夫をする予定です。以上で広報部会からの報告を終わります。</p>

<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問・ご意見はありますでしょうか。 発行日はいつでしたでしょうか。</p>
<p>(田中(久)委員)</p>	<p>12月1日です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>よく確認いただき、今ほども報告がありましたが、写真を多く入れてもらえると良いのではないかと思います。 時間がない中、部会も、事務局も含めて大変だと思いますが、引き続きよろしくお願ひします。 よろしいでしょうか。ありがとうございました。 それでは議事(1)を終了します。 続いて、議事(2)「次期区自治協議会委員の改選について」です。上原委員推薦会議座長から説明をお願いします。</p>
<p>(上原委員)</p>	<p>上原です。よろしくお願ひします。 10月24日に開催されました、第1回委員推薦会議について報告します。 委員推薦会議では、委員改選スケジュールについて、委員構成について、公募委員についての3点を協議しました。 初めに、資料2-1をご覧ください。改選スケジュールとして、推薦会議、全体会、事務局の方向を示すものになります。本日、皆さまから委員構成案を承認いただきますと、各団体へ推薦依頼、個人委員への推薦承諾依頼をするとともに、12月中に公募委員の募集を開始する予定となっています。また、1月下旬頃には、第2回委員推薦会議を開催し、公募委員の選考を行い、内定者を決定する予定です。 次に資料2-2をご覧ください。資料に記載のと通りの委員構成としております。基本は、これまでど通りの委員構成としていますが、3号委員のナンバー25のところを、まちづくり実践者の肩書きとしています。これは地域で、まちづくりに取り組んでいる若者から自治協議会に参画いただき、若者の視点から、まちづくりに関するご意見をいただきたいという考えです。そのほか、公募委員の人数については、意見交換を行い、現行ど通りの2名としました。以上が推薦会議による委員構成の案となります。なお、幅広い世代から参画いただきたいことから、特に若手・女性委員の候補者の推薦をお願いするとともに、可能な限り会議にご参加いただける方の推薦をお願いする予定としております。 次に、資料2-3をご覧ください。こちらを基に、委員の公募を行っていく予定です。募集人数は先ほどの説明のとおり2名、応募資格はご覧のとおりですが、応募方法について、今回の小論文のテーマは、「わくわくする西蒲区を目指して私が取り組みたいこと」としました。応募締め切りは、令和7年1月8日水曜の正午必着となります。また、選考方法については、従来の小論文と活動歴による選考に加え、新たに人物評価を選考項目に追加することとしました。活動歴のシートに、志望動機、協調性・積極性に関する項目を追加し、自己PRシートを提出いただき、小論文と併せて委員推薦会</p>

	<p>議において審査をし、選考します。なお、応募にあたっては、区日より 12 月 1 日号に募集記事を掲載するほか、ホームページや区役所・出張所・公民館・図書館など多くの場所に掲示する予定としております。仮に応募者が募集を定員に満たなかった場合には、欠員として、次年度の推薦会議にて検討してもらうこととします。</p> <p>次に、資料 2-4 は、公募に関する要領で、選考方法の変更に伴う修正を加えたものになりますので、参考にご覧ください。</p> <p>以上が推薦会議で検討し、まとめた内容となります。説明は以上ですが、本日は資料 2-2 に記載の委員構成で進めてよろしいか、皆さまのご意見をよろしくお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほど、上原座長から、次の第 10 期自治協議会の構成メンバー案が示されました。資料 2-2 の構成案について、皆さまご意見・ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>古島委員、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>古島です。第 1 号委員についてですが、各コミ協から選出者とありますが、コミ協に所属をしている人ということ、選出の条件につけていただけるとありがたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>事務局、いかがでしょうか。</p> <p>今のところは、コミ協から推薦していただくという話だと思うのですが。</p>
事務局 (古川原係長)	<p>コミ協へ自治協で出た意見などをフィードバックしていただける方を推薦していただけるとありがたいです。</p>
議長 (吉田会長)	<p>今の事務局の回答ですと、絶対ということではないけれど、極力そのようにお願いしますということ、毎回補足しているということですね。</p>
事務局 (古川原係長)	<p>その通りです。</p>
議長 (吉田会長)	<p>今回も同様にするというので、いかがでしょうか。</p>
(古島委員)	<p>例年そのようにしているけれど、実際はフィードバックされていないという現状を目の当たりにしていますので、ぜひ、コミ協の委員ということも補足いただけるとありがたいです。</p>
議長 (吉田会長)	<p>まずは事務局で検討をお願いします。</p> <p>ほかはいかがでしょう。</p> <p>それでは、委員構成について、承認される方は拍手をお願いします。</p>
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	<p>全会一致で承認されました。</p> <p>資料 2-3、2-4 について、なにかご意見・質問等がありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは議事 (2) を終了します。</p> <p>続いて、議事 (3)「令和 7 年度特色ある区づくり事業について」です。地</p>

	<p>域総務課長、お願いします。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>地域総務課から、来年度の令和7年度特色ある区づくり事業の案についてご説明をします。</p> <p>資料3-1をご覧ください。初めに私から内容をご説明し、その後、委員の皆さまからご質問等がありましたら、各担当課よりご説明しますのでよろしくをお願いします。</p> <p>初めに、資料3-1は区づくり事業のうち区役所企画事業として提案を予定している、12事業についてです。</p> <p>各事業については、区ビジョンまちづくり計画の方針に従って、立案しています。目指す区のすがたにかかる方針順に資料に記載しています。なお、令和6年度、今年度予算より、子育て・健康福祉・防災にかかる事業については、区づくり事業とは別の予算として、市全体で取り扱いをしていますので、この区づくり事業からは外れる状態となっています。また、区づくり事業としてではなく、市全体で取り組むものについても、この一覧には載っていません。例として、資料3-3をご覧ください。委員の皆さまから区づくり事業についていただいた意見やアイデアと、担当課の考え方をまとめた資料になります。左側の整理番号3番をご覧くださいですが、イノシシなどの野生生物に関するアイデアをいただきましたが、こちらは区役所だけでなく、市全体として取り組んでいかなければいけないということで、先ほどご説明した子育て・健康福祉・防災などと同じような考え方のもと、区づくり事業の一覧には載っていないということになります。ご承知おきください。</p> <p>それでは、資料3-1にお戻りください。事業概要について説明します。最初に、「魅力あふれる農水産物を供給するまち」の分野です。二重丸、「ブランド力向上と交流促進」。1つ目の「『にしかん なないろ野菜』食育推進支援事業」は、地域ブランドとして認知度向上・販路拡大に取り組んできた「にしかん なないろ野菜」について、特徴的な色や形を活かし、生きた教材としての使用及び食育と地産地消の推進を支援します。</p> <p>2つ目の「にしかん イノ”米”ション ～やっぱりお米でしょ！～」は、西蒲区における作付け割合が特に高い主食用米及び加工用米について、持続的に魅力あふれる農水産物を供給できるまちを目指し、消費拡大や新規需要創出に取り組めます。</p> <p>次に「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」です。二重丸、「観光資源の保全と活用」の1つ目の「ようこそにしかん誘客事業」では、引き続き、現地観光プロモーション及びセールス活動を実施しながら、インバウンドを対象とした誘客に取り組んでいきます。</p> <p>2つ目の「『矢垂の郷』賑わいづくりプロジェクト」です。「矢垂の郷」を観光スポットとして定着させるため、巻ほたるの里公園周辺環境整備を行い、観光客と角田山麓来訪者へのサービス向上に取り組めます。</p> <p>3つ目は、新規の取り組みで「芸妓支援事業」です。新潟県の芸妓発祥</p>

の地である岩室温泉の「岩室芸妓」の継承者育成及び貴重な観光資源としてのPRを行い、岩室芸妓文化の存続・発展に向けて取り組みます。

次の二重丸、「スポーツ・レクリエーションの普及・推進」として、「にしかんスポーツ活性化」では、ホッケータウン認定を活かしたスポーツに親しむ機会の提供と支援を実施し、スポーツ人口の拡大を図ります。

次に裏面をご覧ください。二重丸、「次世代への継承へ向けた文化活動支援」として、「西蒲区の文化再発見」では、区内の歴史文化について、多くの方々から興味・関心を持ってもらい、次世代への継承に向けた取り組みを行います。

次に、「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」です。二重丸、「西蒲区の実情に合った交通環境の整備」です。新規の取り組みで、「公共交通収支率向上プロジェクト」です。区バスの収支率向上のため、次世代を担う子どもたちや、普段バスを利用しない方に、区バスの乗車体験を通じ、乗車するきっかけの提供などに取り組みます。

次の二重丸、「西蒲区の特徴を生かした移住・交流などの促進」の1つ目の「西蒲区移住促進」では、西蒲区へ移住者を呼び込むために、移住後のライフスタイルがイメージできるような情報発信や、首都圏などで西蒲区暮らし相談会を行い、移住の障壁となっていることや不安解消に取り組みます。

2つ目は「西蒲区空き家利活用」です。西蒲区内の空き家について、管理不全な状況となる前に利活用進めるため、不動産業界団体との連携のもと、空き家相談会や空き家バンク、支援制度の実施などの空き家対策に取り組みます。

最後になりますが、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」です。二重丸、「安心・安全で快適な生活基盤づくり」では、「未来につながるにしかんこども環境事業」として、西蒲区の豊かな自然環境を未来の子どもたちに残すため、子どもたちを対象に、環境への関心・意識を育む取り組みを行います。

次の二重丸、「支え合い学び合う人の和づくり」として、「小・中学校キャリア教育」では、西蒲区内の小・中学生を対象に、地域の若者プレイヤーとの出会いや対話を通じたキャリア教育を行い、地域の魅力発見や愛着を感じられるような取り組みを行います。

以上が現在提案予定の12事業です。今後の流れとしましては、皆さまのご意見を踏まえ、事業内容を精査し、区自治協議会提案事業と併せて、12月の自治協議会にて、予算額も含めて原案を提案し、確定をしたいと考えています。

続いて、資料3-2をご覧ください。来年度に各部会で取り組む区自治協議会提案事業についてです。こちらについては、各部会で協議いただき、記載のとおり、取り組む予定となっています。先ほどの区役所企画事業と併せて、特色ある区づくり事業として、12月に原案を確定したいと思って

	<p>います。</p> <p>最後になります、資料 3-3 をご覧ください。7月の自治協議会で、委員の皆さまに特色ある区づくり事業についてアイデアを募集し、多くの提案をいただきました。大変ありがとうございました。その後、8月の各部会で、それを基に協議を行い、部会から提案いただいたものに対し、担当課の考え方を記載した資料です。</p> <p>左側の整理番号 2「地域活動を活発的に行っている若手団体の PR など」については、先に資料 3-1 でご説明した、特色ある区づくり事業「小・中学生キャリア教育」に反映しています。後ほど、ご覧いただきたいと思います。</p> <p>その他の内容については、今後の行政施策に大いに参考としたいと考えています。ご提案いただき、大変ありがとうございました。説明は以上となります。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ただ今の説明の件、資料 3-1、3-2、3-3 について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。</p> <p>唐澤委員、お願いします。</p>
(唐澤委員)	<p>ありがとうございます。唐澤です。</p> <p>大きく 2 点あるのですが、1 つは、なないろ野菜についてです。昨年度までのブランド強化・販売拡大事業から名前も変わり、食育推進支援事業ということですが、販路拡大とブランド強化はやめたということですか。</p> <p>私は「にしかん なないろ野菜」にあまり可能性ないと思っているので、食育支援が主となるということで良かったと思う一方で、食育につなげるということであれば、西蒲区はすでに産業として成立している農業があります。柿、いちぢく、お米、ワインといった、大変特色ある農産物を取り扱っていると思います。そして、土地。この西蒲区の土地、風土。ワインは砂地だからできるとか、柿団地を造ったり、排水をしたりという歴史。そうした西蒲区の歴史そのものが、食育の教材として大変重要だと思います。別途行っているのかもしれませんが、今後、伸びていくかどうか分からない「にしかん なないろ野菜」よりは、すでに定着している、西蒲区の素晴らしい野菜や農産物について、子どもたちに食育、教育をしていただくといいなということが、個人的な意見です。</p> <p>もう 1 つ強く思ったことが、5 芸妓支援事業です。これについて、私は強く反対をここで発言したいと思います。芸は売っても体は売らないのが芸妓なのだ、という話がありますが、ジェンダー平等といった国際情勢の中で、日本人はジェンダーバランスが悪いなど様々言われている中で、もちろんプライドを持ってやっている方がいるのは重々承知ですが、こういったものをことさらアピールしたり、後継者を育てたりということについて、すごく疑問が残ります。時代は変わり、クリーンになりましたという話もあるのかもしれませんが、成り立ち自体、いろいろなことがあったわけで、私としては、このようなものを自分の住んでいる地域で、素晴らし</p>

	<p>い日本文化だということで発信していくということに関して、分水のおいらんや、古町でもありますが、私は忸怩たる思いで見えています。自分の住んでいる地域で、こういう発言をする機会がありましたので、私としては明確に反対、このようなものはやるべきではない、と意見します。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。 産業観光課長、お願いします。</p>
<p>事務局 (高野産業観光課長)</p>	<p>ありがとうございます。なないろ野菜について、事業名として食育の部分が特化して出ていますが、食育以外やらないということではありません。唐澤委員が反対と意見されていた、今までやってきたブランド強化・販路促進についてもやっていきたいという考えです。西蒲区を盛り上げたいという思いのある大手企業と商談が進んでいますので、まず1つは、大口への供給です。食育については、具体的には学校給食になないろ野菜を供給する。加えて、学校の総合学習の中で、なないろ野菜を育てるということも含めて、地域の子どもたちになないろ野菜に愛着を持ってもらい、大人になった時に「なないろ野菜の給食あったよな」ということを思い出して、地域への愛着が湧いてくるといいなと思っています。柱としては、大手企業への大口供給と、学校給食、さらに越王の里のほか、JAが合併しましたので西区のいっぺこ〜となどでも販売していきたい、この3つをもって、生産者の皆さまに意欲持っていただきたいと考えております。</p> <p>芸妓については、伝統的な文化の良い面を継承していくということです。過去の暗い部分ということであれば、佐渡の金山の世界遺産登録もそうですが、戦争の時の暗い部分などがあるとしても、そういうものも含めて、むしろ逆にそういうことはいけないという教育にも、つなげていければよいと思っています。やり方によるのではないかと考えています。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ほかにかがでしょうか 渡辺委員、お願いします。</p>
<p>(渡辺(忠)委員)</p>	<p>今ほどの件について、よく分からないところもあったのでお話してみます。例えば、巻の料亭組合は非常によくできた組合だったし、そこにいた芸妓は非常に苦勞して踊りや唄、三味線などの楽器の練習をして、非常に勉強してきた部分があるのです。宴会という文化があって、そこで酌をして回ったと。先ほど発言からは、誤解しているように思ったのですが、そのあとで何かあったとか、なかったとかいうのは別の問題であり、芸妓が踊っている時は、酒を飲むことをやめてきちんと見なさいと教わりました。そういった文化としての面で、非常に良いものがあったと思うのです。踊りをきちんと踊るとか、演奏するとか。それで、宴会の座を取り持ってくれる、そういった文化の面について、もう少し勉強してもらえればありがたいと思います。</p> <p>一方で、芸妓は今の時代には合わなくなってきていると思います。公費でそれを盛り上げようということは、少し無駄なことだと思います。需要</p>

	<p>があって、供給があるのであって、それに任せておくべきだと。そこについて、先ほどの意見に賛成です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>産業観光課長、お願いします。</p>
<p>事務局 (高野産業観光課長)</p>	<p>芸妓の需要という部分に関しては、需要は決してないわけではありません。むしろ、供給側があまりないということが実情です。今回考えている事業としては、一般の方に芸妓の踊りや太鼓といった芸を実際に体験してもらって、もちろん稽古ごととしても体験していただき、若い方には将来的に芸妓のお仕事に就いていただけるようになっていけばいいのではないかなということ、明るい面としての芸妓文化を広めていき、需要はありますので、供給側の数を増やしたいというところにねらいがあります。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それではご意見もございましたが、一応、この方向性ということで、意見を参考にさせていただきながら、区役所の方で進めてもらうことでよろしいでしょうか。</p> <p>次は、予算も含めて12月に自治協議会で提案ということ。方向性については、この内容でよろしいでしょうか。</p> <p>資料3-2についても、こちらでよろしいでしょうか。ではこの方向でお願いしたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは議事(3)を終了します。</p> <p>続きまして、報告(1)「にいがた雪の日辞典の発行について」です。土木総務課から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (石塚土木総務課主査)</p>	<p>土木総務課の石塚です。よろしく申し上げます。昨年度に引き続き作成しました、パンフレット「にいがた雪の日辞典」について説明します。</p> <p>パンフレットの説明に先立ちまして、新潟市が行っている大雪に関する市民広報の取り組みについて説明します。資料4をご覧ください。令和3年1月に、新潟市内では短期的な異常降雪に見舞われました。新潟市では、この時の除雪対応で表面化した様々な課題について、外部の有識者や関係団体の皆さまから広く意見を集め、相互共有するとともに、持続可能な除雪体制の改善につなげるために、「新潟市除雪体制等検証会議」による検証を実施しました。</p> <p>令和4年7月には、検証会議による最終とりまとめが行われ、除排雪の効率化、市民広報の積極的な展開、PDCAサイクルの構築を3つの柱とする提言書が提出されたところです。市民広報の積極的な展開として、大雪は災害であることへの理解・浸透を図ることや、大雪時の行動変容を促すこと、除雪体制の市民周知を図ることとし、これに基づき様々な取り組みを行っています。降雪期前には、各種媒体を利用した広報活動やイベントなどを実施し、降雪期には日頃からの大雪の備えや最新の情報を確認するよう促すため、市のホームページ内に特集ページを設置するほか、大雪時に</p>

	<p>は不要不急の外出抑制などについての情報発信を行っています。</p> <p>今回紹介します、「にいがた雪の日辞典」はこれらの大雪に関する市民広報の取り組みを1つとして、昨年度より作成し、全戸配布しているもので、2024年度版に内容を更新したものとなります。パンフレットの内容について説明します。2024年度版「にいがた雪の日辞典」をご覧ください。内容としては、基本的に昨年度のものを時点修正しており、自助・共助・公助の視点、市民の皆さまへの役立つ情報の充実、SNSを活用したプッシュ型広報の推進を柱として、新たに6ページにあります、雪道の安全走法、13ページの凍結防止剤の散布、15ページの異常降雪時の出控えのお願い、16ページの異常降雪時の情報発信、そして18ページに問い合わせの多い、電線復旧の垂れ下がり対応についての内容を追加しており、総ページ数も16ページから20ページに増えています。</p> <p>特に、15ページ目の異常降雪時の出控えのお願いについては、近年、雪が短期間かつ集中的に降る傾向にあり、昨年度も12月に、1日に50センチの雪が積もる、どか雪となった日がありましたが、こういう日は災害であるとの認識のもと、市民の皆さまへのお願いとしてよく周知したい項目となっています。関連して、16ページにも、大雪、異常降雪時の情報発信について掲載しています。新潟市公式LINEに登録すると、大雪の警戒レベルに応じた情報を事前に受け取ることができ、出控えや予定変更など、大雪時の行動について考える際の指針となるものですので、ぜひご活用いただければと思います。</p> <p>内容としては、新潟で育った人からすると当たり前の情報が多いと思いますが、初めて新潟に来られた方でも冬の暮らしについて理解でき、役立つものとなっていますので、新潟の冬の友として、使っていただければと思います。既に、冊子として製本されていますが、現在、表紙の写真について変更作業をしていますので、完成形は別の写真が表紙となります。ご了承ください。</p> <p>パンフレットの配布については、11月の中旬から下旬にかけて、自治会・町内会の自治会長宛に送付し、自治会・町内会を通じて各ご家庭へ全戸配布をお願いする予定です。大変お手間をおかけすることとなりますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。以上で土木総務課からの説明を終わります。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。なにかご意見やご質問はありますでしょうか。</p> <p>周りの方にも、自治会を通じて配られるのでご覧ください、ということで周知をお願いします。</p> <p>田中委員、お願いします。</p>
<p>(田中(久)委員)</p>	<p>質問というより要望になるのですが、例えば、大雪がこれから降りますとか、すごく大きな台風が来ますといった時に、いくら個人で外出したくないと思っても、会社から来なさいと言われると、日本人気質としてどう</p>

	<p>しても出社してしまうと思うのです。無理かもしれないですが、企業への働きかけ、こういう時は在宅ワークという方法もありますよねとか、それに対する支援やサポートであるとか、そのようなことをしてもらえると、在宅ワークしやすくなって、危険に遭わなくて済むのではないかと思いました。以上です。</p>
事務局 (石塚土木総務課主査)	<p>ありがとうございます。企業へのお願いを商工会議所等を通じてできないかということで、働きかけているところです。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
(谷原委員)	<p>谷原委員、お願いします。</p>
	<p>9ページの「おもいやりのひとかき運動」で、スコップが500か所設置してあるということですが、新たに設置して欲しいということは社協へ相談ということではよろしいでしょうか。</p>
事務局 (石塚土木総務課主査)	<p>記載の問い合わせ先へご連絡いただければと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは報告(1)を終了します。</p> <p>次に、その他です。初めに、「出張！なんでも鑑定団 in 新潟市西蒲区」について、堀区長、お願いします。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>少しお時間いただきまして、報告とお願いになります。来年2月1日に巻文化会館で、「出張！なんでも鑑定団」の公開収録が行われます。</p> <p>それに向けて現在、お宝の募集と観覧者の募集をしており、11月22日がどちらも締め切りになります。観覧者は900人ほどの予定なのですが、すでに1,000人以上のお申込みをいただいています。抽選ですので、まだ間に合います。お宝については、100人の方から応募いただくことが目標で、現在50人ぐらいで要するに半分ですので、ぜひ皆さまのお宅にあるお宝を、物置などを探していただきたいというお願いです。古いものでなくてもいいのです。新しいものでも、価値がありそうだなというものでも結構です。ぜひご自宅、ご親戚、お友だちにお声がけをいただき、お宝を応募していただきたいです。せっかく西蒲区で行われます。ステージに登壇する方が西蒲区以外の方ばかりだともったいないですので、ステージ上を西蒲区の方で埋めたいなと思っております。ぜひご協力のほど、よろしくお願いします。</p> <p>なお、ポスターやチラシをご用意しておりますので、ぜひお持ち帰りいただき、ポスター掲示やチラシの配布等に、引き続きご協力くださいますようよろしくお願いいたします。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ぜひ皆さま、恥ずかしがらずに応募いただき、盛り上げていただければと思っております。応募したからと言って登</p>

	<p>壇できるわけではないので、試しに出してみたいかがでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>次に、「にしかん応援隊」を活用いただいたイベントの実績アンケートの結果・感想などについて、古島委、石田委員、上原委員より説明をお願いします。</p> <p>また、田中副会長からも、応援隊の募集についてPRをお願いします。まず、時代激まつりについて、古島委員、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>古島です。3名の方が応募してくださいました。この場を借りて、御礼申し上げます。応援隊にお願いしたこととしては、お弁当を参加者に対して配る、もしくは、参加者のサポートをするということです。非常によく働いてくださり、初めての経験でしたが、非常にありがたかったという声が上がっております。</p> <p>一方、応援隊の方からは、最後にスタッフが誰もいなくなって、応援隊の3人だけ現場で残されたということがあったとのお話がありました。招へいする側も、ボランティアとはなにかとか、どのような気持ちで来てくれているのか、というところをよく勉強しないと、お互いわだかまりが残ってしまうと感じました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、石田委員、お願いします。</p>
(石田委員)	<p>まずは、だがしや楽校です。前回、募集したところですが、手作りおもちゃのブースについて、今までは手伝いの方が少なく、手が回らなかったため、初めて「にしかん応援隊」を募集したと。1人参加していただきました。1人でも、ブースが複数あったので、大いに助かりました。そして、参加していただいた方からも、地域と直接関わるようなイベントだったので楽しかった、ということで良かったです。主催者としては、来年はもっとPRして、多くの人から参加していただきたいと思っています。</p> <p>次に、多加良まつりです。商工会の青年部が中心となっている事業なのですが、時間の制約がある中で、今まで人手が足りていませんでした。そのような状況の中で、こちらも1人から参加していただきました。参加した方からは、地域の魅力を知ることができて参加して良かった、という声をいただきました。多加良まつりも、例年、非常に多くの方から来ていただいていますし、今年も石川県の門前の方からも来ていただきました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、上原委員、お願いします。</p>
(上原委員)	<p>上原です。イベントは、角田山麓フェスティバルです。8人応募して、1人の方から参加していただきました。</p> <p>応募する側からは、募集シートの書き方が難しい、イベントの内容や魅力がどのように伝わるか、書き方ひとつで受ける側の考えも変わるのでは</p>

	<p>ないかなという声がありました。初めて応援隊を募集したのですが、応募があり一安心しました。また、参加してくれた方からは、色々な作業をみんなで行うことで、多世代交流することでき、大変良かったというご意見をいただきました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。 続きまして、田中副会長、お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>応募シートをお配りしております、明るいまちづくりイルミネーション事業についてです。毎年、岩室駅の両側、東西のイルミネーションとして、11月下旬から2月下旬まで約3か月間、防災活動にもつなげて、夜間照らしています。また、JR越後線の乗客の皆さまから見える位置にありますので、楽しんでいただいております。</p> <p>11月16日の土曜日に設置作業を行います。高齢化が進んでおり、設置作業に協力いただける人も少なくなっているため、ぜひ、応援隊の皆さまにご協力いただければと思っております。</p> <p>まだ応募はありません。終了後には、地元の自治会の皆さまからのカレーライスの振舞いがあります。ぜひ奮ってご参加くださいますよう、よろしくをお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>大変ありがとうございました。ぜひ皆さまも、協力できる時間帯だけでも構いませんので、まずは参加してみたいということと、参加が難しくても周りの方にPRしていただけると非常にありがたいですので、積極的にお願いします。</p> <p>次に、かもん！カモねぎまつりのチラシについて、小林副会長、お願いします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>お疲れさまです。カモねぎまつりが12月1日に開催されます。事前にチケットの購入が必要で、10月8日から販売しており、時間指定に定まっていますのでご注意ください。800円で炊き立てのご飯とカモ汁がつきます。ぜひおいでください。よろしくをお願いします。</p> <p>応援隊も募集します。暖かい体育館の中での作業になります。よろしくをお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ぜひ、前売り券の購入と応援隊について、よろしくをお願いします。</p> <p>他にPRしたい事項など、ありますでしょうか。</p> <p>私から、巻観光協会主催の新そばまつりについて紹介です。開催日は11月10・17・24日、事前受付のみで、電話で予約受け付けをしているのですが、だいぶ埋まってきています。チラシは全戸配布しています。ぜひ、地元の巻地区で採れたそば粉を使った新そばまつりですので、食べに来ていただければと思います。</p> <p>他になれば、よろしいでしょうか。</p> <p>冒頭の挨拶でお伝えし忘れたことがありました。10月19日のライフフェス田においては、各コミ協や団体からスタッフとして多くの皆さまにご</p>

	<p>参加いただきました。非常に助かりましたので、改めましてお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事・報告が全て終わりましたので、田中副会長から締めていただきたいと思います。</p>
(田中(弘)委員)	<p>皆さま、長時間お疲れ様でした。</p> <p>無事にライフフェス田を開催することができて、ほっとしております。悪天候が予想される中、やるか・やらないかの2択ではなく、どうやったらできるのかという選択肢を入れて、それでそちらの方に舵を切ったということで、変更が多く、委員の皆さま、そして事務局の皆さま、本当に大変だったと思います。結果として、無事に開催することができて、本当に良かったと思っています。当日は本当に疲れましたが、その分、達成感がありました。</p> <p>自治協議会の第9期、4分の3が終わりました。残り5か月です。これから、まだまだイベントや作業があると思いますが、フェス田によって得られた一体感をもって、ラストスパートもよろしくお願いします。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは、進行を事務局へお返しします。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>ありがとうございました。最後に事務局から連絡します。</p> <p>1点目、次回の西蒲区自治協議会は、11月28日、木曜日の午後に本日より同じく、巻地区公民館で開催する予定です。案内については、後ほど、改めて送付しますので、よろしくお願いします。</p> <p>2点目、このあと、各常任部会を開催します。会場は、総務部会が2階の実習室、保健福祉部会が2階の研修室、まちづくり・産業部会が3階の視聴覚室です。なお、常任部会の開催時間は、おおむね10分後の16時15分からを予定しています。お手数ですが、お手元の名立てを持ってご移動をお願いします。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和6年度第7回西蒲区自治協議会を終了します。お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>